



第19-88号

2019年11月18日

地域とつながり、親しまれる駅づくりを推進！

千歳船橋駅の列車接近メロディに「知床旅情」を導入します

～ 千歳船橋にゆかりがあり、文化勲章受章の「森繁久彌氏」が作詞・作曲 ～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、2019年11月24日（日）から千歳船橋駅のホームに列車が接近する際のメロディとして「知床旅情」（オルゴール調）を使用開始します。

「知床旅情」は、千歳船橋のまちにゆかりのある、文化勲章受賞者で、世田谷区名誉区民である森繁久彌氏が作詞・作曲し多くの方に愛唱されている曲です。2019年は、森繁久彌氏の没後10周年となり、世田谷区および森繁久彌先生没後10周年記念事業委員会の「千歳船橋の街の繁栄と、森繁久彌氏の記憶を後世に残すこと」の企画趣旨に賛同し、実施するものです。

当社では、中期経営計画で「心が動く瞬間を演出するコンテンツの創造」を掲げており、地域のシンボルとなる駅づくりに向けて、駅構内でのBGM導入や駅の改良など、沿線地域とのつながりを意識した駅づくりを推進しています。引き続き、地域資源を活かした駅づくりを進め、地域とともに、小田急沿線エリアへの誘客とまちの賑わいを創出してまいります。



千歳船橋駅（外観）と接近メロディを流すホーム

千歳船橋駅前の森繁久彌氏「テヴィエ」銅像

記

- 1 開始予定日 2019年11月24日（日）12時00分から
- 2 放送時間 初電から終電まで（列車接近時の自動音声放送）
- 3 導入駅 小田急線 千歳船橋駅（所在地：東京都世田谷区船橋1-1-5）
（参考 1日平均乗降人員 60,091人（2018年度））
- 4 使用曲 上りホーム 知床旅情 イントロバージョン
（参考歌詞 ♪知床の岬に はまなすの咲くころ）
下りホーム 知床旅情 サビバージョン
（参考歌詞 ♪遥か国後に 白夜は明ける）

〈参考〉森繁久彌氏と千歳船橋

- ・平成22年に商店街通りの区道が「森繁通り」と正式名称となる
- ・平成26年にテヴィエ像が区へ寄贈されたことから、千歳船橋駅改札前に設置
- ・平成26年から知床まつり・物産展を毎年、千歳船橋駅前広場で開催

以上